

平成 29 年 10 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

10月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が5業種、悪化が1業種、昨年同等が8業種となり、全体の景況感DI値も好転している。

一般機器、輸送機器、卸売業、小売業、サービス業で受注や売上が増加傾向であるが、食料品は景況感が悪化している。

山口県の中小企業は、製造業の一部で先行きの明るさを感じつつも、続く人手不足による機会ロスやそれに伴う人件費アップ等の対応に苦慮している。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 10 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：10.0% 悪化：28.8% DI値：▲18.8% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）



前年同月比は、増加：26.3% 減少：20.0% DI値：▲6.3% ポイント






収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）


前年同月比は、好転：11.3% 悪化：22.5% DI値：▲11.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 10 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲50.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	22.2	50.0	▲18.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
40.0	▲22.2	▲75.0	▲27.3	▲20.0	0.0	▲100.0	▲19.2
							

全 体
▲18.8


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	これからも、業界全体で、食の安心安全に努める。	パン・菓子製造業
	2回の週末台風接近にもかかわらず、10/30時点で対前年同月比で+2.3%と健闘。台風通過の土日を中心に週末の売上は振るわなかったが、平日の数字が伸びている。明治維新150年特別企画「長州さむらいメシ」は全紙・全局で記事掲載・ニュース報道され注目を集めることができた。中国経産局の協力を得て来年度は同企画をさらにパワーアップ、全国に向けてイベントプロモーション&情報発信する予定。	水産食料品製造業 萩市
	今後の世の流れが読みづらい。消費税の増税が確実にありそうだが、消費の落ち込みなどが危惧される。準備も大変で中小企業には負担が大きい。	水産食料品製造業 下関市
	平成29年10月は、季節外れの長雨のため、稲刈り作業が大幅に遅れ、併せて、病虫害の発生などによりお米の収量についても低下している。地球温暖化に伴い、ゲリラ豪雨など、過去の知見が全くいかせない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、国民への連絡体制などの仕組みづくりが必要になってきている。また、地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。なお、北朝鮮情勢が緊迫化し、アメリカのトランプ政権が武力的報復を検討するなど、地政学的リスクが高まっているので、政府には、国際社会と連携して、この状況を打開する努力が必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	衣類の店頭販売は苦戦をしている。運賃が上昇しコストアップとなっている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	デパートの閉鎖・撤退、ネット通販、低価格商品の影響やメーカーの売上不振等で受注量が減少したため、10月より事業を縮小した。アパレル業界が復活する兆しも無く、これからの危惧している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	2018年春物の生産がスタートしたが、既にキャパオーバーの声が聞かれる工場もある。内容を確認してみると、生産体制を構築し多品種に対応している模様である。対応力を強化するとメーカーからの引き合いも増え、仕事量も安定する。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	対前年同月比では変化がない。	製材業・木製品製造業 山口市

	新築物件の受注は、極端に少ない状況が続いている。公共工事の関係で設備操業度は上昇している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	需要期を迎え受注量は増えてきたが、折り込チラシの需要が今一步である。	印刷 下関市
	受注が少なく、工場の稼働率も少ない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	10月の出荷量は、 (平成28年10月) 骨材 65%、路盤材 94%、再生材 182% ↓ (平成29年10月) 骨材 135%、路盤材 102%、再生材 72%	砕石製造業
	出荷量は、前月比120%、前年同月比91%。上半期前年対比95%で、今年度の見通しは対前年95%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格も安定している。	生コンクリート製造業
	組合活動は低迷しているが、個人的には異業種(我々の仕事内容を全く知らない人々)の方々の突飛な意見を参考にして、新たな作品(製品)の作製を試みたいと思う。良い方向に向かうようであれば組合での本格的な事業案として取組んでみたい。	石工品製造業
	萩市内の観光客数及び売上げは前年同月比で、同等もしくは下回った状態で、依然厳しい状況が続いている。10月1日～22日に行われた「着物ウィーク in 萩 プレミアム」期間中の土日に行われた「萩・竹灯路物語 プレミアム」は、2週続けての土日の悪天候の影響もあり人出が激減した。10月6日～9日に行われた秋の萩焼まつりも、入場者数は昨年と比較してかなり減少している。昨年からの木箱・梱包材等原材料費の値上げ傾向の中、10月1日からヤマト運輸が実施した運賃値上げの影響が大きく、収益が悪化している。販売価格の値上げを検討せざるをえないところだが、売上の減少が懸念され現時点では難しい。(非組合員の大手窯元は9月から一部商品を値上げしている。)デパート、ギフト関連の受注は横ばいといったところ。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	金型を含む自動車関連・海外プラント関係は好調を維持しており、組合員各社、良い方向へ進みつつある。慢性の人手不足、特に熟練技術者が不足している。アベノミクスの経済効果が大きく地方に反映するように新政権の地方へのテコ入れを期待している。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係の受注状況は引き続き安定。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係等全ての職種で業績は好調で残業も多く、外国人技能実習生受け入れ増員相談あり。1部上場企業からも相談あり。介護の受け入れについては、複数の施設から受け入れの相談、要望があり、中国、ベトナムへの調査を進めているが、受入れの条件が厳しく対応に苦慮している。引き続き、フィリピン、インドネシアの調査を行う予定。介護施設は、近い将来、事業の継続が困難になるのではと心配している。なお、法改正に伴う人数枠の拡大、5年への延長についても要望があり、対応している。</p> <p>9月と同様で推移している。売上高は微増している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	車両部門は長期生産計画に基づいて順調に生産高を伸ばしている。しかし原価低減の要請は厳しく、苦しい経営に変わりはない。精密加工部門は踊場の状態で昨年より大きく落ち込んでいる。産業プラント部門は年末以降に持ち直すと見込まれている。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	10月に入っても“いりこ”が品不足で、価格も高く、品質も悪い状態である。全体で前年同月比4.8%の減収。	乾物卸売業
	養殖フグの価格が平年並みに安定しているため、今シーズンは期待が出来る。	生鮮・魚介卸売業
	平成30年春には、団地内の土地・建物の所有権移転をしたい旨の届け出が企業からあり、スムーズに行われるよう心配している。	各種商品卸売業 防府市
	長雨もあり寒くなったので、鍋物等食品の売上が増加。	各種商品卸売業 山口市
	組合・地域ともに「少子高齢化」が大きな問題となっている。空き家・空き地が増加し、若者の流出もあり雇用難である。	各種商品卸売業 下関市
小売業	組合員の売上は前年と同程度とのこと。年2回、組合で美容食品のコンテストを実施しており、15年間（延べ30回）連続で売上目標を達成している。10/21～12/20まで実施中であるが、コンテストの売上が通常の売上に上乗せされると良いが、年々難しくなっている。この中においても新規客を取り込むためリニューアルする組合員もある。	化粧品小売業
	当組合への新規加入者が増加。中心市街地活性化基本計画の進捗により、新規創業・開業に対する様々な助成制度が奏功し、商店街への新規出店が顕著になっている。新店が開業すれば雇用が増加し、同時に売上高や仕入れ高も増加し、市況は好転している。ただし新店の多くはサービス業、飲食業が多く、物	各種商品小売業 岩国市

	<p>販業が見られない。したがって市況評価のうち在庫量や販売価格の大きな変動は見られない。</p>	
	<p>来春の新駅前施設の開業に向けて、多彩な催事の開催が決定。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>
	<p>駐車場利用が多かった様子で、売上も少し良かった。11月のイベントに期待したい。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>先月同様、昨年に比べ商店街への来客数が減少しているとの声が上がっている。年末に向けて来客数増加に繋がるよう「大歳の市」の準備を進めているところである。来月に期待したい。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
	<p>客数、売上ともほぼ前年並みの状況であった。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>個人消費が減退しており、スーパー、百貨店、コンビニとも1.3%等の減収とのことであるが、商店街も同様である。季節的にも秋物から冬物へ移行する時期だが売上には結びついていない。はっきりしないが、衆議院選、市長選等の影響もあるかもしれない。</p>	<p>山口市</p>
	<p>消費の不振が続いている。</p>	<p>宇部市</p>
	<p>衣料品店の売上が少し伸びている。飲食店はイベントもあり、売上が多少伸びている。電気店は非常に厳しいようで、閉店が1店舗あった。他の業種の売上も厳しい状況にある。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>ある組合員外のお店では平均客単価2千円台で、スタッフは数名、月2千人位のお客様の施術を作業的に行い、コミュニケーションは取れないが、低料金で顧客のニーズに合わせた営業をしているとのことである。そういう営業は、美容師としての人材を育てることが難しく、将来を担う美容師を育てるためにも一定料金を頂き、教育・養成に力をいれるべきだと考えているのが組合の姿勢である。しかし、現実はこの低料金のお店が増加している。お客さまに満足してもらい、また、クオリティの高い美容師を養成できるお店の体制を考えないといけない。</p>	<p>美容業</p>
	<p>9月～10月にかけて長雨や、台風等の天候で来客数が減少傾向になり、先行きが不透明である。</p>	<p>理容業</p>
	<p>9月末における県内の登録自動車の保有台数が、二輪車を除いて約549千台となった。このうちハイブリッド車が9万台に達し毎月1千台のペースで増加しており、登録車全体の16.4%を占めるまでになった。このように先進技術を搭載した自動車が増加する中で、ディーラー以外の整備工場での整備対応が難しくなりつつあり、工場を存続するための技術の向上が大きな課題となってきた。</p>	<p>自動車整備業</p>

	労働力不足による機会ロスが発生している。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員は7月～9月までの3ヶ月間に前年割れが続いたが、10月は前年並みとなり下げ止まった。一人当たりの平均単価は前年同月比に比べアップしている。	旅館業 山口市
	売上高は前年同月比で減少している。天候不順、衆議院選挙等が原因で客数が減少した。温泉利用者の高齢化が急速に進み、情報発信不足による客数の減少がみられる。	旅館業 長門市
	多くのイベントがあり、イベントによって客の動向が変化した。DCキャンペーン、文豪ストレイドッグスなどの観光や文化のイベントは集客力が高く、効果が少しあった。	飲食業
	夏物衣類の衣替えが進む中、これから着用するような冬物が出てきている。年々出し忘れなのか着る前に出すのか、わかりかねる状況が進んでいる。家庭洗濯の向上でクリーニング数が減っているため、家庭洗濯との違いを明確にしていかなければならない。	普通洗濯業
	ツアーの催行において、バスの絶対数の不足と人員の不足等でコストがアップし、販売価格が上昇している。収益は良くならない。	旅行業
建設業	10月の山口支部の中電への工事申請は129件。そのうち、太陽光発電の申請27件、オール電化申請67件。LED街路灯への切替・新設は18件であった。	電気工事業
	春先から減少していた工事量が年末にやっと回復するが、4年余り前から決算も回復しており、工事量減少の中でも組合員に深刻さはない。	左官業
	今年度の発注は11月末に終わる見通しであるが、2月末の納期に向けて受注済みの仕事を順調に熟している。相変らずの誘導員（ガードマン）不足ではあるが、岩国基地関連工事等も縮小傾向、気候も良くなったので警備会社も地元工事への派遣が可能となり、少し好転している。衆議院選挙も終わり、安定した政権下で、工事単価等も上がる等良い方向にいくよう期待している。	管工事業
	新築着工件数は幾分持ち直したように思える。しかし最近では、屋根に板金を採用する物件が増加しているため、瓦工事の件数は、相対的に減少傾向。その分、住宅メーカーよりも一般のお客さんからの受注に力を入れざるを得ない。	屋根工事業

	<p>8月以降の好調が引き続き職人が足りない状態であった。職人不足が今後も続くと予想される。9月のズレ込みもあり、10月もそこそこの工事量があった。現場の入れ替わりのため、11月の半ば以降に少し空きが出そうだが一時的なものと思える。</p>	内装工事業
	<p>依然として、悪いままである。当初予算が前年度よりマイナスであったので、予測通りとなりさびしい限りである。補正予算に期待したり、働き方改革、生産性の向上等に対応すべきところであるが、組合員の反応はない。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>萩・小郡道や河川改修の大規模工事を受注し、受注高は、対前年同月比1201.8%。今年度の累計は対前年比67.9%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>相変わらずドライバー不足に悩まされながらの1ヶ月であった。中距離輸送は横ばい。月後半より輸送物資輸送が右肩あがりであった。前年同月比では0.5%弱のプラスであった。運賃収受率は変わらずで中小輸送事業者は苦慮しており、机上の計算通りにはならない。燃料費は1円の値上げ。軽油引取税の何分の一かでも減額にならないだろうか。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>9月と同様に予定外の受注があり前年同月比でプラスとなった。自動車関連の輸送についてはEVへのシフトにより生産形態が変わり多様に変化しそうな模様である。燃料費については毎月ジワリジワリと上昇している。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>売上に変化がないなか、軽油価格の上昇が利益を圧迫している。長距離搬送や倉庫は調子が良いものの、地場の配送やダンプ搬送がかなり苦戦している。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>中国から大型客船で団体客があり、観光バス・観光タクシーの需要が伸びている模様だが、個人タクシーは規模が小さすぎて対応が難しい。</p>	一般旅客自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+4.1%（平成29年9月1日～平成29年10月20日分）。9月1日～30日分は+0.5%、10月1日～20日分は+10.1%。前年度減少したのでその戻りも考えられるが、今月中旬から増加傾向にある。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。9月分については、周南▲0.8%，下松▲3.6%，光+7.2%，防府市地区が+0.6%で、組合員の全域では▲0.4%、地区外（員外）+19.9%で合計+0.5%。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPが上昇（前月480.0\$/トンが今月540.0\$/トン、前年345.0\$/トン）したため前月より+5.8%となった。前年10月分に比べると+28.1%となり、年末の繁忙期を控え、タクシー事業者にとってこの負担が</p>	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>大変になっている。タクシー乗務員は慢性的に不足しているが、労働時間の管理（監督署＋運輸局による）が厳しくなり 実稼働人数が減少し、時間帯によると配車が遅れるような状態である。前年度に取扱い金額が減少した事もあり、今月の増加が本物かどうか、今月後半の動きが心配だ、少し景気回復が見込めるような気がします。</p>	
	<p>今月も例年並みの取扱高で、大きな変化はなかった。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>11月28日、外国人技能実習生受入事業のうち、関心の高い介護職についての制度説明や留意事項等の新制度説明会を開催する。</p>	<p>介護事業</p>